高等教育機関と連携したダイバーシティに関する講座等企画・運営業務

報告書

目次

1　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2　各高等教育機関でのダイバーシティ授業・講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（1）三重大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（2）鈴鹿大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
（3）皇學館大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

3　授業におけるアンケートの結果
（1）アンケートの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
（2）集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
①　三重大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
②　鈴鹿大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
③　皇學館大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
④　全体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

4　ダイバーシティ懇談会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

5　ダイバーシティ教材・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

6　情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

1　はじめに

（1）業務の目的

本業務は、平成 29 年 12 月に三重県が策定した「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く（きらり）、多様な社会へ～」をふまえ、複数の県内高等教育機関においてダイバーシティに関する授業や公開講座等を行うとともに、ダイバーシティ推進に係る教材を作成することなどで、ダイバーシティ推進の考えを県内に広めていくものである。

（2）業務の概要

① 各高等教育機関でのダイバーシティ授業・講座

ダイバーシティについて学ぶ授業・講座を企画・運営し、三重大学・鈴鹿大学・皇學館大学で実施した。授業及び講座では、三重県のダイバーシティみえ推進方針を紹介し、各回のテーマは、ダイバーシティ推進の考えを県内に広めていくという趣旨に沿うものを実施した。3 大学で合計 10 回の授業・講座を実施し、そのうち 1 回は、公開講座として開催した。全 10 回の授業・講座の受講者は約 1,100 名であった。また、出席者へ、ダイバーシティに関する意識調査アンケートを実施した。

② ダイバーシティ推進啓発教材の作成

高等教育機関が持つ知見やデータ、ノウハウなどの専門性や上記①の内容を踏まえ、企業・自治体等における研修等において活用できる教材を作成した。本教材は、当該分野の専門外である教員や職員、社員でも、講師となって活用できるような汎用的なものとして作成した。

③ 情報発信の取組

高等教育コンソーシアムみえホームページにおいて、本事業に関する情報発信を行った。

2　各高等教育機関でのダイバーシティ授業・講座

（1）三重大学

授業・講座はすべて三重大学　人文学部・地域イノベーション学研究科　朴　恵淑教授の授業「三重学（授業テーマ：三重ブランドの創出)」において実施した。

① 第1回

日　時：令和元年10月16日

講　師：朴　恵淑（三重大学　人文学部・地域イノベーション学研究科　教授）

テーマ：国連持続可能な開発目標（SDGs）と三重県の多様性を活かした持続可能な三重創生・日中韓の大学生意識調査

内　容：SDGsやSociety5.0、日中韓の大学生の男女共同参画に関する意識調査の結果、三重県や県内高等教育機関におけるダイバーシティへの取組

受講者：三重大学生約150名

② 第2回

日　時：令和元年12月11日

講　師：南　泰代（名古屋音楽大学　非常勤講師）

テーマ：保育環境とダイバーシティ

内　容：未婚化・子供の数の減少による少子高齢化と過疎化、労働力の減少から女性の育児変化と男性の育児参加、LGBTの養子制度による育児希望、幼保一体化による保育環境の変化、保育環境の整備の必要性

受講者：三重大学生約120名

③ 第3回

日　時：令和2年1月8日

講　師：田中　貢（高等教育コンソーシアムみえ　地域活性化推進コーディネーター)、三重県　環境生活部　ダイバーシティ社会推進課

テーマ：ダイバーシティについてみんなで考えてみよう！

内　容：高等教育コンソーシアムみえの取組や本事業を実施する目的、ダイバーシティやダイバーシティ・インクルージョンの定義、ダイバーシティという言葉が表す属性の変遷、様々なデータ（少子高齢化、女性の活躍推進、障碍者雇用、LGBT、グローバル化、多文化共生）から見るダイバーシティ、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見、無意識の思い込み)、ワーク・ライフ・バランスの重要性

受講者：三重大学生約120名

④　第 4 回

日　時：令和 2 年 1 月 22 日

講　師：高原　祥子（高原社会保険労務士事務所)、臼井　千恵

テーマ：働く・キャリア、ダイバーシティ

内　容：社会保険労務士の業務、キャリアの定義、働き方改革、ダイバーシティ経営の定義、計画された偶発性理論、自律と対話

受講者：三重大学生約 120 名

⑤　公開講座

日　時：令和 2 年 1 月 29 日

講　師：朴　恵淑（三重大学　人文学部・地域イノベーション学研究科　教授)、長谷川　峰子（三重県男女共同参画センター　フレンテみえ　事業課長兼　相談係長)、三重県　環境生活部　ダイバーシティ社会推進課、田中　貢（高等教育コンソーシアムみえ　地域活性化推進コーディネーター)、南　泰代（名古屋音楽大学　非常勤講師)、高原　祥子（高原社会保険労務士事務所)、大西　昌子（三重大学　地域イノベーション学研究科　博士前期課程)、李　一雯（三重大学　地域イノベーション学研究科　博士後期課程）

内　容：朴教授の報告「三重大学のダイバーシティプロジェクト報告～日中韓大学生の男女共同参画意識調査結果、講義内容のダイジェスト～」、長谷川課長の報告「三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」のダイバーシティ活動」、ダイバーシティみえ推進方針の紹介、三重大学の第 3 回授業、鈴鹿大学、皇學館大学の授業の概要の紹介、南講師の報告「LGBT に関するアンケート結果」、高原氏の報告「三重大学の第 4 回授業の概要」、大西氏の報告「スリランカの支援を通じたダイバーシティ」、李氏の報告「日中韓の男女共同参画に関するアンケート調査分析」

受講者：三重大学生約 150 名

（２）鈴鹿大学

①　第１回

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部　副学長・こども教育学部長　川又　俊則　教授の授業「教育社会学」において実施した。

日　時：令和元年 12 月 9 日

講　師：川又　俊則（鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部　副学長・こども教育学部長　教授）

テーマ：三重県のダイバーシティ・多様性ある社会

内　容：色盲・色弱から色覚の多様性への呼称の変化、カラーユニバーサルデザイン、性の多様性、LGBT、SOGI（ソジ、性的指向・性自認、Sexual Orientation、Gender Identity）、国籍の多様性、外国につながる子、三重県のダイバーシティに関する取組

受講者：鈴鹿大学生 10 名

②　第２回

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部　副学長・こども教育学部長　川又　俊則　教授の授業「学童保育方法論」において実施した。

日　時：令和２年１月 14 日

講　師：佐熊　秀樹（学童保育所くれよんくらぶ　指導員）

テーマ：放課後児童クラブと多様性

内　容：学童保育所くれよんくらぶの紹介、指導員の仕事の多様性・多面性、外国につながる子どもたち、身体的な課題をかかえる子どもたち、異年齢の交流を活かす子どもたち

受講者：鈴鹿大学生 14 名

③　第３回

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部　副学長・こども教育学部長　川又　俊則　教授の授業「教育社会学」において実施した。

日　時：令和２年１月 14 日

講　師：林　羊歯代（愛知産業大学造形学部　教授・NPO 人にやさしい色づかいをすすめる会　世話人）

テーマ：学校教育と色覚―色覚の多様性を理解する―

内　容：色の見え方の違い、様々な色覚タイプ、色盲・色弱から色覚の多様性への呼称の変化、CUDO（特定非営利法人カラーユニバーサルデザイン機構）、色弱模擬フィルタ「バリアントール」の体験、学校での色覚検査、色覚による職業制限、色覚による職業制限を改善する意識を育てる場とし

ての学校教育現場

受講者：鈴鹿大学生 20 名

（3）皇學館大学

授業・講座はすべて皇學館大学　教育学部　深草　正博　特命教授（元教育学部長）の授業「日本伝統文化教育論」において実施した。

① 第 1 回

日　時：令和元年 12 月 10 日

講　師：深草　正博（皇學館大学　教育学部　特命教授（元教育学部長））

テーマ：ダイバーシティの観点から文化を見る

内　容：ビッグバン以降の宇宙史の分化（多様化）の歴史から見た人類が進むべき方向、日本人の欧米文化に対する劣等感、日本国内の地域の優劣意識、開かれた文化相対主義（文化に優劣はない）の浸透の必要性、全国レベルから個人レベルでの文化の違い

受講者：皇學館大学生約 200 名

② 第 2 回

日　時：令和元年 12 月 10 日

講　師：深草　正博（皇學館大学　教育学部　特命教授（元教育学部長））

テーマ：ダイバーシティの観点から文化を見る（第 1 回の続き）

内　容：全国レベル・東西レベル・地方レベル・県レベル・郡・市町村レベルの文化・方言の違い（歴史的な文化の違いや全国の雑煮の違い、カタツムリの呼び方の違いを例に）、文化の違いの重要性とダイバーシティ推進

受講者：皇學館大学生約 200 名

3　授業におけるアンケートの結果

（1）アンケートの概要

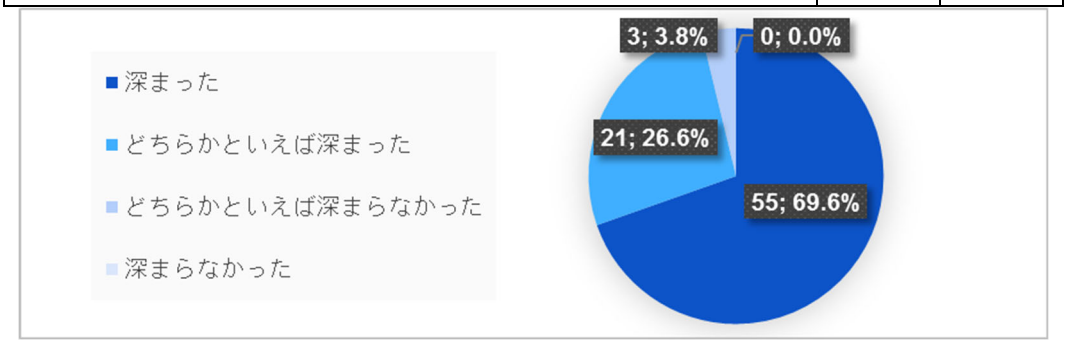
各高等教育機関における授業に出席した学生に、ダイバーシティの理解度やダイバーシティ社会に対する意識について質問するアンケートを実施した。実施に際しては、QR コードを記載した用紙を配付し、Web アンケートにより回答を得た。

（2）集計結果

①　三重大学

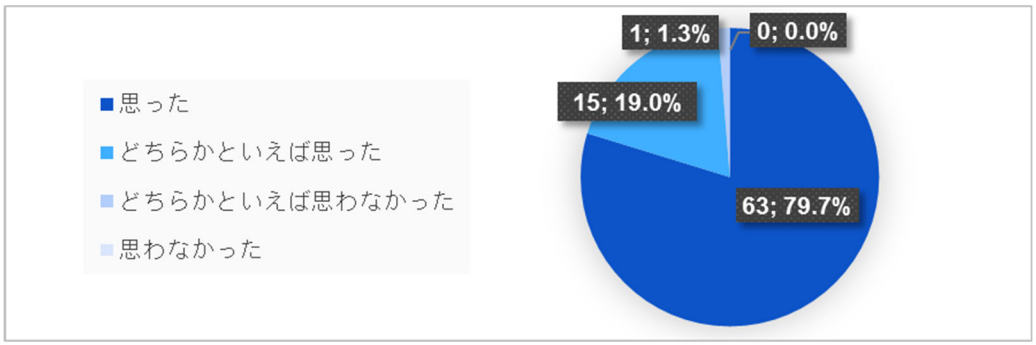
Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？　79 件の回答

深まった	55	69.6%
どちらかといえば深まった	21	26.6%
どちらかといえば深まらなかった	3	3.8%
深まらなかった	0	0.0%



Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動（人の多様性を大切にした行動）をしていこうと思いましたか？　79 件の回答

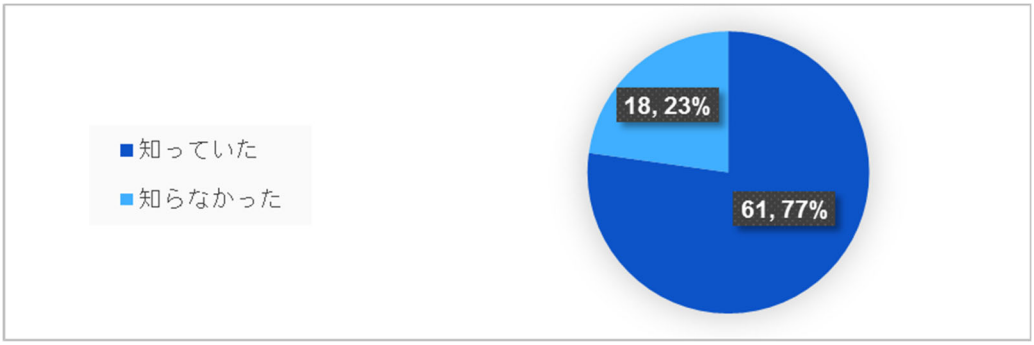
思った	63	79.7%
どちらかといえば思った	15	19.0%
どちらかといえば思わなかった	1	1.3%
思わなかった	0	0.0%



Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？79 件の回答

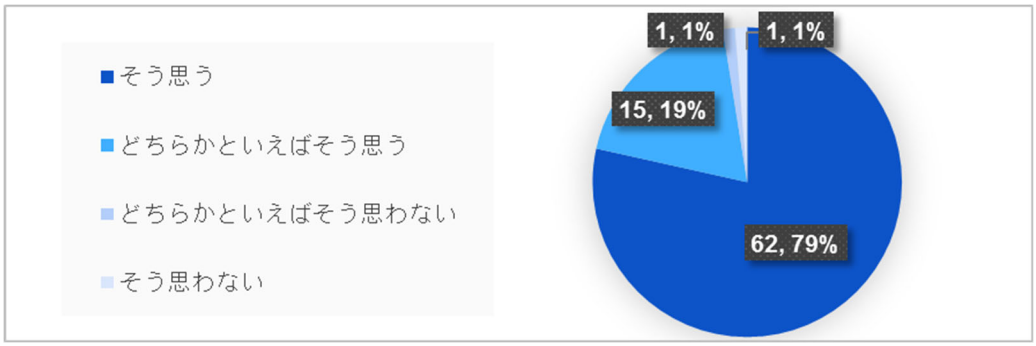
知っていた	61	77.2%

知らなかった	18	22.8%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？ 79 件の回答

そう思う	62	78.5%
どちらかといえばそう思う	15	19.0%
どちらかといえばそう思わない	1	1.3%
そう思わない	1	1.3%
わからない	0	0.0%



Q5 本日（1/8）の授業で行ったワークに対するあなたの回答を記述してください。

もっと自由に
世の中不公平だと思った
「男性の方が車の運転がうまい」と思います。そして、出かける時は男性に車を運転させます。
古典的か固定概念が根付いているので、考えが不自由だったりする人が多いと思う。考えを刷新することは急には難しいと思うが、理解しようとすることから始めることが肝要であると思う。
アンコンシャスバイアスのチェックリストをみて、前例がないことには不安を感じることがあるという項目はどこがどういう風にバイアスになっているのかわからなかった。

年上の人は敬うべき
女性の方が部屋が綺麗で掃除が行き届いていると思われている
男性は結婚したら働いてお金を稼ぐ
目上の人には言葉遣いを気をつけなさいという事例
カードゲームなどは子どもが遊ぶものという偏見
とても勉強になった
ダイバーシティに関する問題は近年増えてきていると思うので、今回この講義を聞けてとても為になりました。今日の講義で一番印象に残っているのはアンコンシャスバイアスについてです。チェックリストで当てはまるものが多くあったので日常に強く関連しているなと改めて感じました。
今までふと思っていたことも誰かにとっては嫌なこともあると言うことが分かった。
「Q．あなた自身や～？」→「A．男子/女子だから○○が好きと決めつけられる」、「Q．その場合～？」→「A．趣味嗜好に性別は関係ない、ということをそれとなく伝える」
理解を深めていこうと思った
思い浮かばなかった
気にしていこうと思う
予想以上にアンコンシャスバイアスというのはあるのだなと感じた
女性が社会において結婚、出産を必要とされること
物理の問題で速さの問題が出た時に $v=\sqrt{2gh}$ だと思ってしまう
自覚していないアンコンシャスバイアスが多くあることに気づき、気づいていないということは怖いことだと感じた。
男が優先であることが多い。
男なんだからあまり泣くなと言われたことがある。
将来女の人は結婚して当然に子供をうむべきと思われがち。
子供がやっているようなものを大人がやっていると不審になりがち。
どうしても他人事だと思ってしまう自分が情けないです。
男性保育士を見かけたときに驚く
男性は育児休暇をとるべきではないと考える。
飲み会の席で、「男なんだからもっと飲め」と言われてたこと
大阪府民は面白いことを言わないといけない
身近にアンコンシャスバイアスはたくさんあるだなぁと思った
人は誰しも偏見を持つということに改めて気付かされた
困ってる人の助けになる行動をみんながするべきだと思った

人々の中に障害者とわかってしまうと、健常者とどこか区別をして考えてしまうところがあると思います。その区別が差別になってしまうのは、やはり違うと思いました。さらに、同じ人間なので、どれだけ時間がかかってもダイバーシティ社会を実現できると思いました。

Q6 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。自由に記述してください。

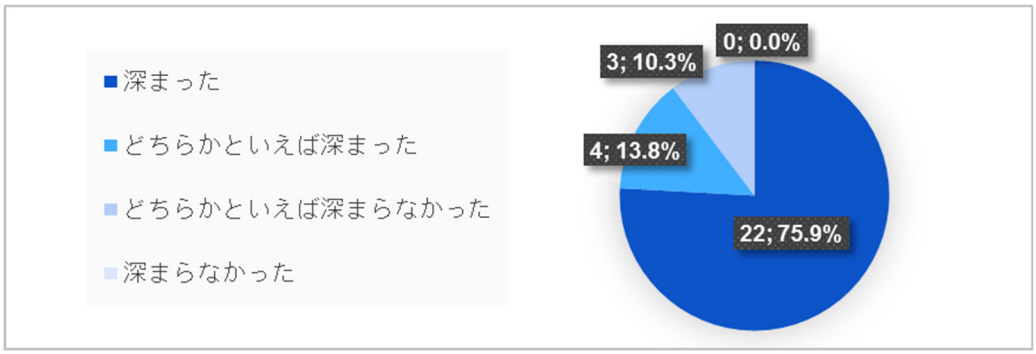
抑圧からの解放
人間の傲慢を消すこと
すべての人の信念を尊重して、すべての人はすべて社会の中の 1 人の員です。彼らは差別されるべきではないです。
個人の適切な理解
自分と異なる人、環境、などに対する理解
互いを理解しようとする気持ち
寛容さとか、事前知識。あとは、風潮。
人間がそれぞれダイバーシティ社会について考えて実行していこうという意識を持つことが必要だと思う
みんなの理解と受け入れ
お互いに人はそれぞれ違うということを認め合うことが大切であると思う。
お互いのことについて知り、理解しようとするなど歩みよろうとする姿勢が必要だと思う。
偏見をなくし、双方に理解すること
お互いを尊重すること
まずは個人個人がきちんとダイバーシティについて考えることが大切だと思います。
教育の力は大きいと思います。
一人一人がダイバーシティについて知って理解する必要があると思う。
人が自分と違うのは当たり前、という考えが常識として浸透すること。
認知されること
考え方はひとつじゃないと認識すること。
みんなが人間の多様性を理解すること
意思
生贄
人々が、どんな人に対しても相手の生き方を尊重すること。
各人の意識の変化

正しい理解
個々の他人に干渉しないという意識。他人への理解、全部を理解できると思わない。
人間平等
多様な価値観を受け入れること
小さい頃からの教育でダイバーシティの重要さを教える
一人一人がバイアスを乗り越えたり、違いを認識できる能力が必要であると思う。
お互いの違いを理解し、尊重し合うこと
ダイバーシティに関する教育
自分が本当にしたいことを考えるための時間の確保と、お互いに過干渉を避けること
それぞれの考え方を変えていかないといけない。
ダイバーシティという言葉を一般の人々が日常から意識すること
LGBT は普通だという意識を育てること
人々の理解と思いやり

② 鈴鹿大学

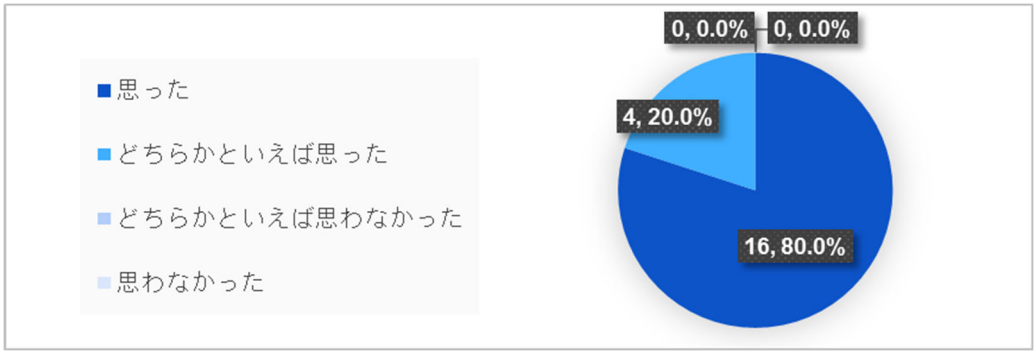
Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？ 29 件の回答

深まった	22	75.9%
どちらかといえば深まった	4	13.8%
どちらかといえば深まらなかった	3	10.3%
深まらなかった	0	0.0%



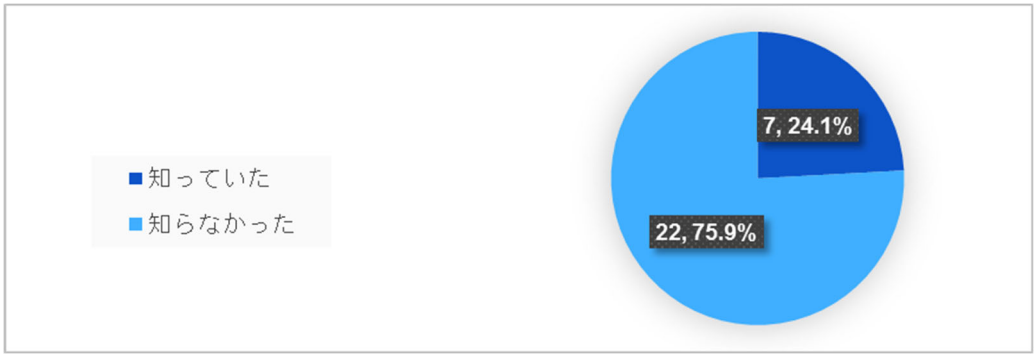
Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動（人の多様性を大切にした行動）をしていこうと思いましたか？ 20 件の回答

思った	16	80.0%
どちらかといえば思った	4	20.0%
どちらかといえば思わなかった	0	0.0%
思わなかった	0	0.0%



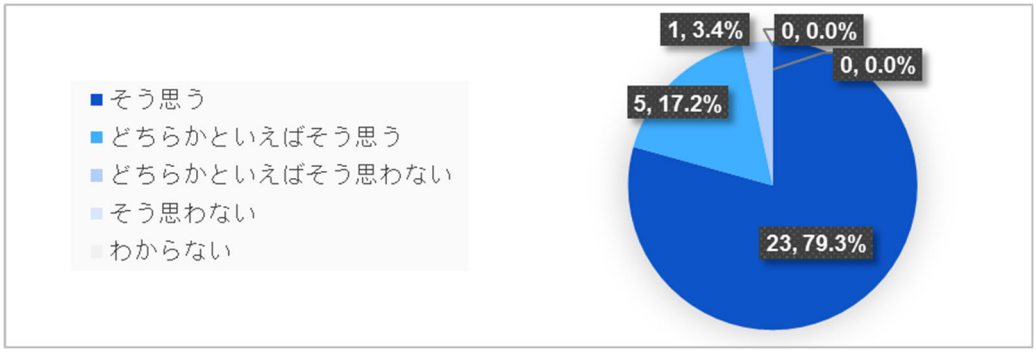
Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？29 件の回答

知っていた	7	24.1%
知らなかった	22	75.9%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？ 29 件の回答

そう思う	23	79.3%
どちらかといえばそう思う	5	17.2%
どちらかといえばそう思わない	1	3.4%
そう思わない	0	0.0%
わからない	0	0.0%



Q5 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。自由に記述してください。

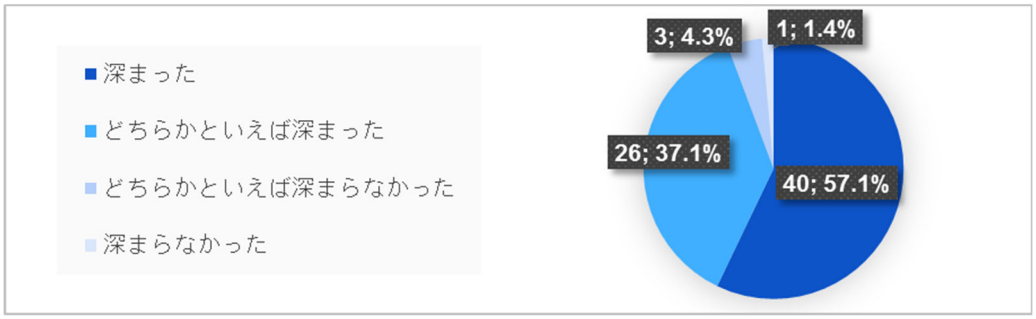
わからない
もっと色々なところで公演をした方が良いと思う。
知ろうとする気持ちとみんなの理解
周りの理解
子供と大人の両方の意識と理解
相手を思いやる気持ち、相手の気持ちになって考えてみること。
ダイバーシティに対する理解を深める、身近に感じるイベントなどや広報、民放を使う
偏見をなくすこと
小さい頃からダイバーシティについて学び出す
福祉

他者を尊重する心を全ての人が持つこと
専門家の方から説明会を行ってもらい様々なことを正しく学ぶこと
周りの理解度
理解
世間の人々にむけてテレビや新聞で正しい知識を提供すること。
多様な人達についての知識理解
地域や家庭とのつながりの福祉施設
障害を持っている人たちとの接点

③　皇學館大学

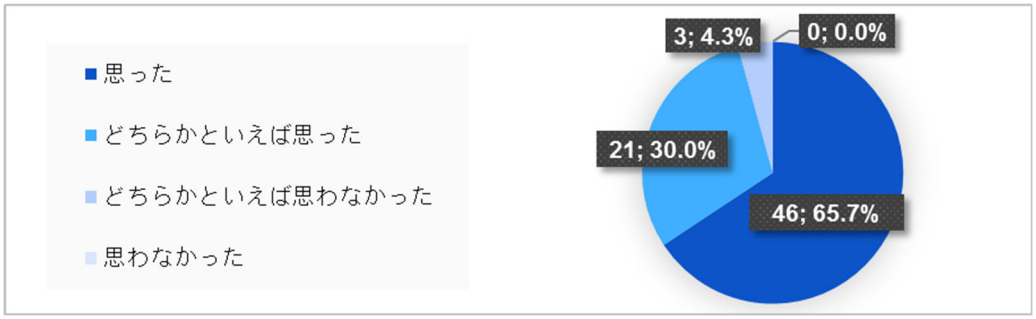
Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？　70 件の回答

深まった	40	57.1%
どちらかといえば深まった	26	37.1%
どちらかといえば深まらなかった	3	4.3%
深まらなかった	1	1.4%



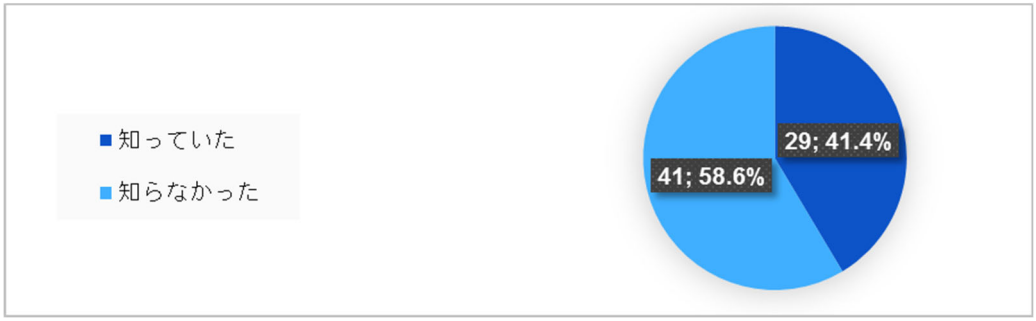
Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動（人の多様性を大切にした行動）をしていこうと思いましたか？　70 件の回答

思った	46	65.7%
どちらかといえば思った	21	30.0%
どちらかといえば思わなかった	3	4.3%
思わなかった	0	0.0%



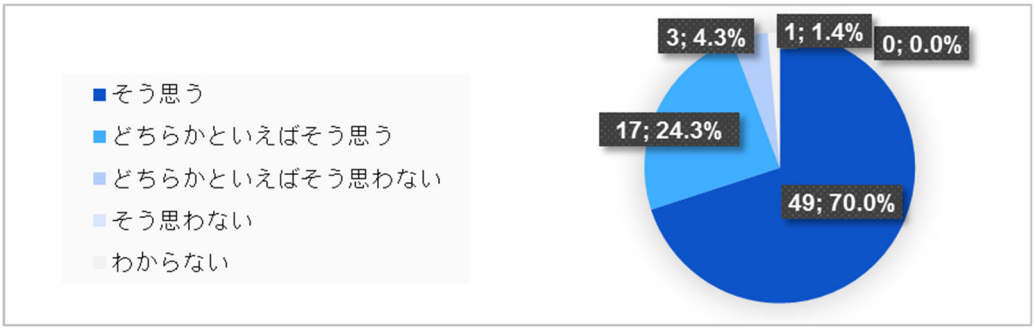
Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？70 件の回答

知っていた	29	41.4%
知らなかった	41	58.6%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？ 70 件の回答

そう思う	49	70.0%
どちらかといえばそう思う	17	24.3%
どちらかといえばそう思わない	3	4.3%
そう思わない	0	0.0%
わからない	1	1.4%



Q5 あなたは、ダイバーシティ社会を実現するためには、何が必要だと思いますか。自由に記述してください。

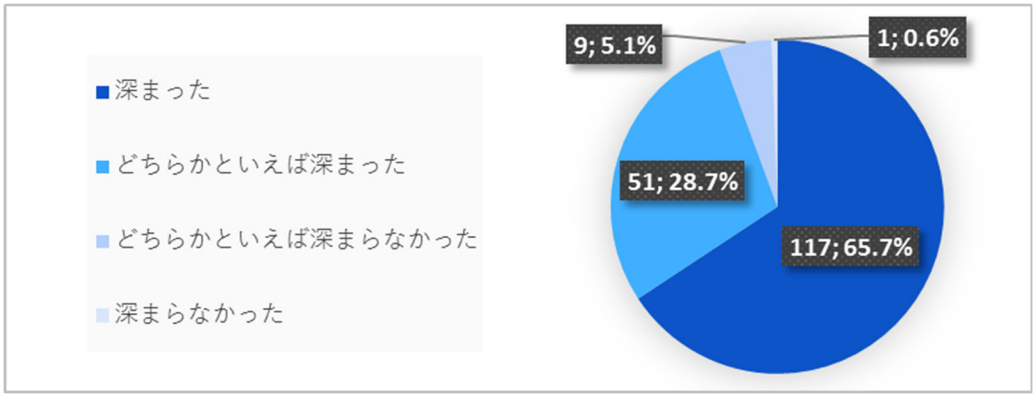
異文化理解
他者理解や、〜らしい振る舞いなどの固定的な考えを改める考え方
留学 国際理解 自国理解
ダイバーシティについての理解を、一般人にも広める。また小学生からそういった教育を行う。
コミュニケーション
道徳心、知識
地域運動
すべての文化を大切にする
ダイバーシティ社会という言葉を多くの人が知ること
全国民のダイバーシティへの理解
ダイバーシティについての理解
異文化理解
国際化をまずは受け入れるべきではないかと思います。
人の理解が必要だと思う。
みんなで協力して知っていくことだと思う。
違いを認める社会
異文化に対する偏見を取り払うこと

誰もが思いやりを持って、相手の気持ちを考えて行動すること。また、多様な人がいるという認識、知識を持つことが必要。嫌な思いをした人が「嫌だ」と言える環境。
自分が相手よりも優っているまたは劣っているという上下の考え方がなくなることが必要だと考える

④　全体（Q1～Q4 のみ）

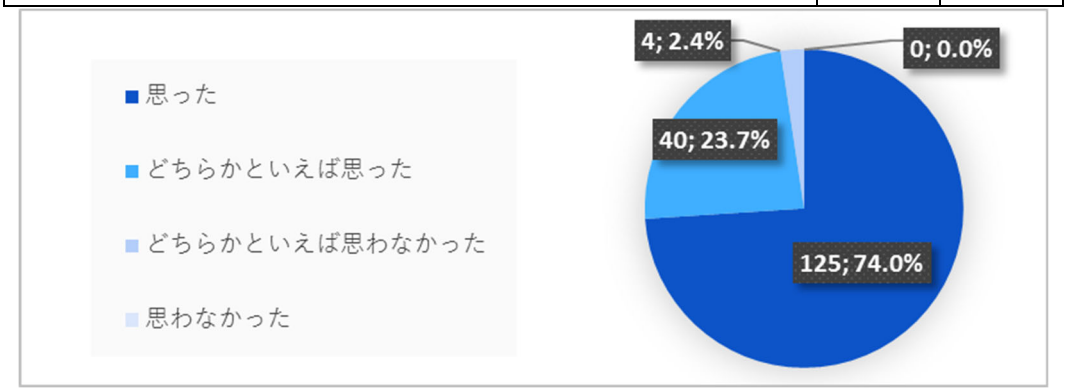
Q1 本日の講義で「ダイバーシティ」についての理解が深まりましたか？ 178 件の回答

深まった	117	65.7%
どちらかといえば深まった	51	28.7%
どちらかといえば深まらなかった	9	5.1%
深まらなかった	1	0.6%



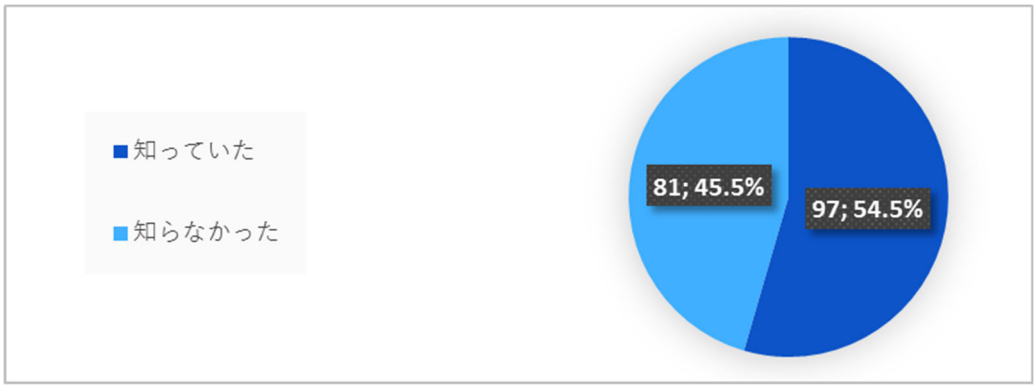
Q2 本日の講義で「ダイバーシティ」についての行動（人の多様性を大切にした行動）をしていこうと思いましたか？ 178 件の回答

思った	125	74.0%
どちらかといえば思った	40	23.7%
どちらかといえば思わなかった	4	2.4%
思わなかった	0	0.0%



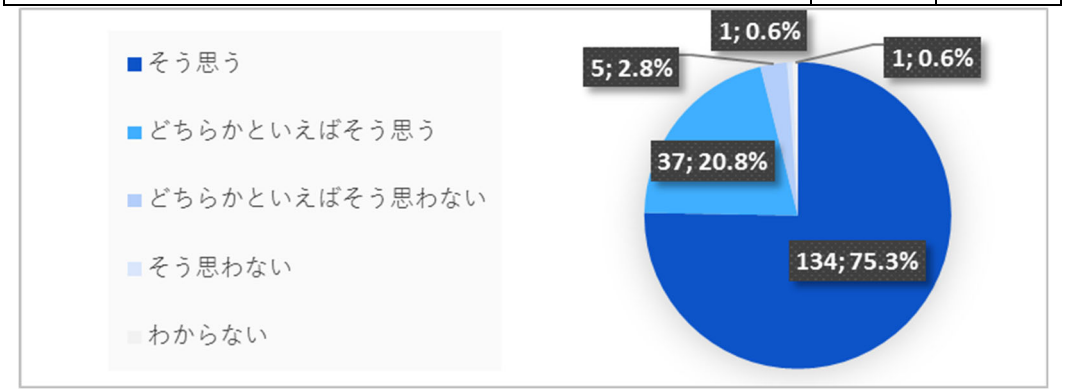
Q3 あなたは、以前から「ダイバーシティ」という言葉をご存知でしたか？ 178 件の回答

知っていた	97	54.5%
知らなかった	81	45.5%



Q4 あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか？ 178 件の回答

そう思う	134	75.3%
どちらかといえばそう思う	37	20.8%
どちらかといえばそう思わない	5	2.8%
そう思わない	1	0.6%
わからない	1	0.6%



4　ダイバーシティ懇談会

（1）開催の目的

本事業の関係者それぞれの授業・講座の内容の共有及び今後の三重県におけるダイバーシティ推進のための意見交換を目的として開催した。

（2）内容

日　時：令和2年2月18日

出席者：朴　恵淑（三重大学　人文学部・地域イノベーション学研究科　教授)、川又　俊則（鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部　副学長・こども教育学部長教授)、深草　正博（皇學館大学　教育学部　特命教授（元教育学部長))、南　泰代（名古屋音楽大学　非常勤講師)、長谷川　峰子（三重県男女共同参画センター　フレンテみえ　事業課長　兼　相談係長)、三重県　環境生活部　ダイバーシティ社会推進課、田中　貢（高等教育コンソーシアムみえ　地域活性化推進コーディネーター)、李　一雯（三重大学地域イノベーション学研究科　博士後期課程）曹　惊龍（三重大学　地域イノベーション学研究科　博士前期課程)、陶 鋭意（三重大学　地域イノベーション学研究科　博士前期課程）

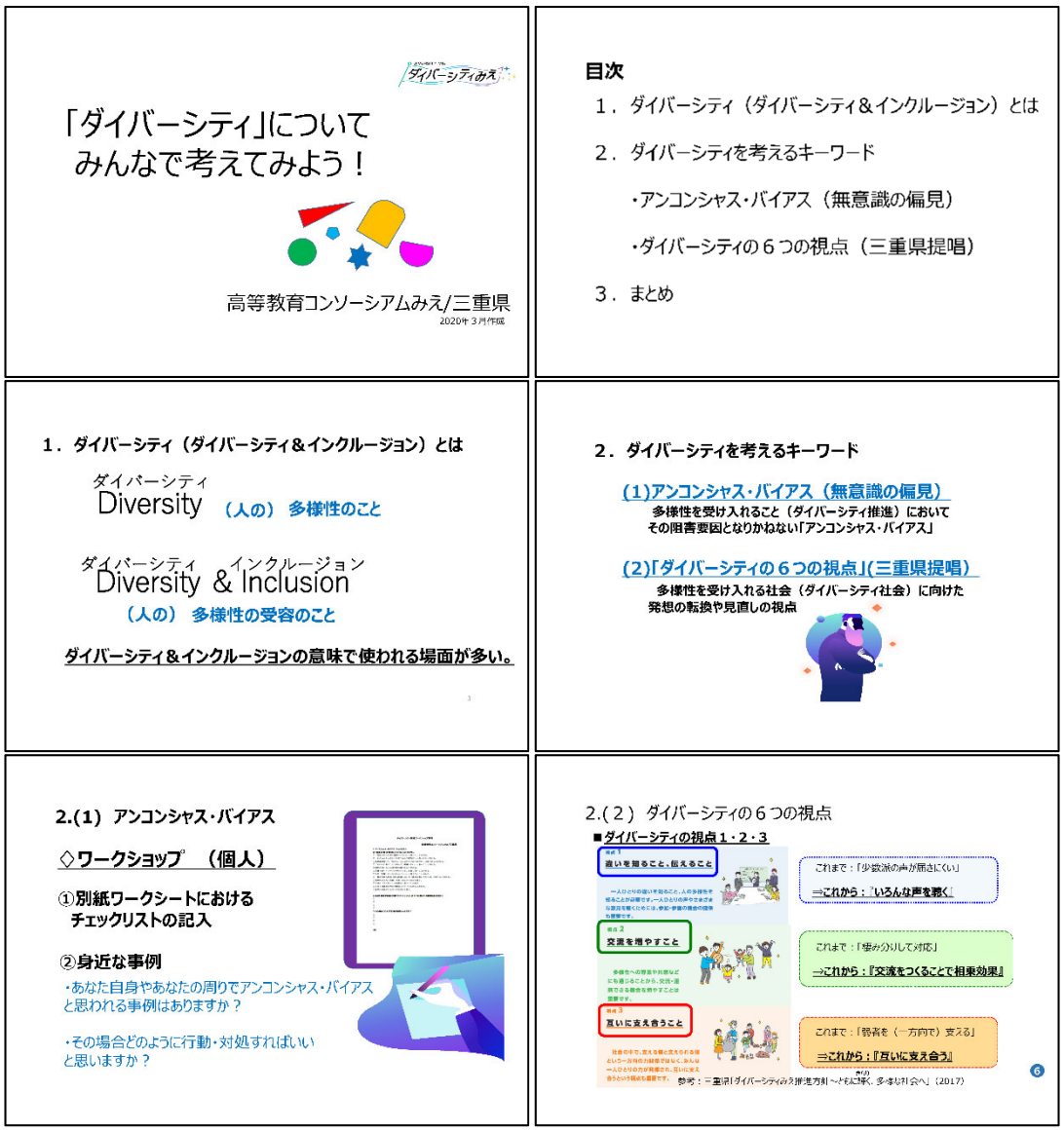
内　容：各出席者の授業・講座の概要説明、日本・中国・韓国の大学生の男女共同参画に関する意識調査の結果報告、本事業の今後の展開、学生からの報告

5　ダイバーシティ教材

（1）教材の概要

パワーポイントで作成したうえで、説明する内容をファイル内に記載することで、その他のテキスト等を必要とせず、本教材のみで研修等を行うことができるようにした。

内容は、ダイバーシティ及びダイバーシティ＆インクルージョンやダイバーシティ社会の考え方、三重県のめざすダイバーシティ社会について説明したうえで、ダイバーシティを考えるキーワードとして「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」と、三重県が提唱する「ダイバーシティの６つの視点」を紹介し、アンコンシャス・バイアスについて考えるワークショップを行うものとなっている。詳細は別紙のとおり。



6　情報発信

本事業において実施した取組を発信するため、高等教育コンソーシアムみえのホームページに受託事業専用ページを作成し、本事業に関する情報を随時発信した。

http://conso-mie.jp/events/2019diversity1016/

高等教育コンソーシアムみえ

COC+事業　交通アクセス　お問い合わせ

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

三重大学でダイバーシティに関する第2回授業を行いました！

令和元年12月11日に三重大学の「三重学（三重ブランドの創出）」の授業において、ゲスト講師である名古屋音楽大学非常勤講師の南泰代氏による「保育環境とダイバーシティ」という題目で授業を行っていただきました。

授業では未婚化・子供の数の減少による少子高齢化と過疎化、労働力の減少から女性の育児変化と男性の育児参加やLGBTの養子制度による育児希望の話があり、幼保一体化による保育環境の変化等多岐にわたるダイバーシティに関する話をされました。少子高齢化が進む時代、様々なところで人材確保は困難になり、現在そして未来の人材確保のためには子育て中の保育環境の整備が不可欠であると訴えられました。

最後に聾学校での教師経験もある南先生から簡単な手話による自己紹介の仕方を教わり約120名の学生もほとんどの人が初めて行う手話による挨拶を戸惑いながらも新鮮な気持ちで行っていました。

三重大学では年明け1月8日、22日、29日にもダイバーシティに関する授業を行っていきます。

メニュー

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

参加機関

三重県

http://conso-mie.jp/events/2019diversity1211/

高等教育コンソーシアムみえ

COC+事業　交通アクセス　お問い合わせ

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

三重大学でダイバーシティに関する第3回授業を行いました！

令和2年1月8日、三重大学の授業「三重学（授業テーマ：三重ブランドの創出）」において、高等教育コンソーシアムみえ 田中責地域活性化コーディネーターがダイバーシティに関する授業を行いました。

はじめに、三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課から「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く(きらり)、多様な社会へ～」の紹介があった後、田中コーディネーターの授業に移りました。
田中コーディネーターからは、高等教育コンソーシアムみえの取組や本事業を実施する目的の説明があった後、「ダイバーシティについてみんなで考えてみよう！」というテーマで、ダイバーシティやダイバーシティ・インクルージョンの定義、ダイバーシティという言葉が表す属性の変遷、様々なデータ（少子高齢化、女性の活躍推進、障碍者雇用、LGBT、グローバル化、多文化共生）から見るダイバーシティについて話がありました。
次に、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見、無意識の思い込み）について説明があり、「①あなた自身やあなたの周りでアンコンシャス・バイアスと思われる事例はありますか？」「②その場合どのように行動すればいいですか？」という2つの質問を学生に投げかけ、考えてもらうワークショップを行った後、アンコンシャス・バイアスへの対処法について話がありました。
最後に「働き方とダイバーシティ」として、ワーク・ライフ・バランスの重要性について話がありました。

三重大学では1月22日にも授業を行います。また、1月29日13時から三重大学で公開講座を実施します。公開講座については下記のURLをご覧ください。
http://conso-mie.jp/events/0129koukaikouza01/

メニュー

http://conso-mie.jp/events/2019diversity0108/

高等教育コンソーシアムみえ

COC+事業　交通アクセス　お問い合わせ

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

三重大学でダイバーシティに関する第４回授業を行いました！

1月22日、三重大学の授業「三重学（授業テーマ：三重ブランドの創出）」において、ダイバーシティに関する授業を行っていただきました。

はじめに、ゲストスピーカーの臼井千恵氏から、過去の体験、記憶、性格などから構成される「セルフイメージ（≒潜在意識）」について、夢を諦めてしまうのはセルフイメージが原因であり、自分がどのようなセルフイメージを持っているかを意識し、それを書き換えることで行動力が加速するとお話しいただきました。

次に、同じくゲストスピーカーの高原社会保険労務事務所 高原祥子氏から、「働く・キャリア」と「ダイバーシティ」という2つのテーマでお話しいただきました。

高原氏からは、社会保険労務士の業務やキャリアの定義、働き方改革とはノー残業、社員が楽をすることではなく、働く人が多様な働き方を選択できることであること、ダイバーシティ経営の定義、計画された偶発性理論等についてお話しいただきました。

最後に、ダイバーシティ社会において大切なことは自律（自分の生き方を自分で決められること）と対話（価値観が異なる人と向き合って相手を理解しようと努めること）であるとお話がありました。

メニュー

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

参加機関

三重県

三重大学　四日市大学　皇學館大学　鈴鹿大学

鈴鹿医療科学大学　三重県立看護大学　四日市看護医療大学

鈴鹿大学短期大学部　三重短期大学　高田短期大学　ユマニテク短期大学

鈴鹿工業高等専門学校　鳥羽商船高等専門学校　近畿大学工業高等専門学校

各種担当者の方へ

学生の方へ　教職員の方へ　一般の方へ

http://conso-mie.jp/events/2019diversity0122/

高等教育コンソーシアムみえ

COC+事業　交通アクセス　お問い合わせ

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

鈴鹿大学でダイバーシティに関する授業を実施しました！

令和元年12月9日、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部 川又 俊則副学長の授業「教育社会学」において、ダイバーシティに関する授業を行っていただきました。

はじめに、三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課から「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く(きらり)、多様な社会へ～」の紹介があった後、川又副学長から「三重県のダイバーシティ・多様性ある社会」というテーマで、「色覚の多様性」「性の多様性」「国籍の多様性」についてお話しいただきました。「色覚の多様性」は、色の見え方が一人ひとり違うことや「色盲」「色覚異常」ではなく「色覚多様性」という呼称に変更する動きがあること、色を見分けにくい人にも情報を伝えられる「カラーユニバーサルデザイン」等についてお話しいただきました。「性の多様性」は、性の多様性に関する社会の動向や性のあり方、性的マイノリティを表現する言葉としてSOGI（ソジ、性的指向・性自認、Sexual Orientation、Gender Identity）が提唱されてきていること等についてお話しいただきました。「国籍の多様性」は、日本で暮らしながらも日本語を話すことができない「外国につながる子」が、全国的に見ても三重県には多いことや、津市、三重県、三重県交流財団等の取組についてお話しいただきました。

今回の授業では10名の学生が受講し、多様なこどもたちという観点からダイバーシティについて学ぶことができました。

鈴鹿大学では、ダイバーシティに関する授業をあと2回行っていただく予定です。

メニュー

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

http://conso-mie.jp/events/2019diversity1209/

高等教育コンソーシアムみえ

COC+事業　交通アクセス　お問い合わせ

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

鈴鹿大学でダイバーシティに関する第2回授業を行いました!

令和2年1月14日、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部 川又 俊則副学長の授業「学童保育方法論」において、ダイバーシティに関する授業を行っていただきました。

はじめに、三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課から「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く(きらり)、多様な社会へ～」の紹介があった後、ゲストスピーカーの、学童保育所くれよんくらぶ 指導員 佐賀 秀樹氏から「放課後児童クラブと多様性」というテーマでダイバーシティに関する授業を行っていただきました。

授業では、学童保育所くれよんくらぶの紹介があった後、指導員の仕事が家庭、学校、地域、学童保育内等の連携をとおして多様な子どもの姿を多面的にとらえる仕事であることや、外国につながる子どもたち、身体的な課題をかかえる子どもたち、異年齢の交流を活かす子どもたち等の多様な子どもたちについて、グループディスカッションや子どもたちの間で流行っている遊びの体験を交えながらお話しいただきました。

今回の授業では14名の学生が受講し、子どもの多様性という観点からダイバーシティについて学ぶことができました。

鈴鹿大学では、ダイバーシティに関する授業をあと1回行っていただく予定です。

メニュー

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

参加機関

三重県

三重大学　四日市大学　皇學館大学　鈴鹿大学

鈴鹿医療科学大学　三重県立看護大学　四日市看護医療大学

鈴鹿大学短期大学部　三重短期大学　高田短期大学　ユマニテク短期大学

鈴鹿工業高等専門学校　鳥羽商船高等専門学校　近畿大学工業高等専門学校

各種担当者の方へ

http://conso-mie.jp/events/2019diversity0114-2nd/

高等教育コンソーシアムみえ

COC+事業　交通アクセス　お問い合わせ

高等教育コンソーシアムみえについて ▼　事業内容 ▼　受託事業 ▼　イベント・行事 ▼　単位互換制度 ▼

鈴鹿大学でダイバーシティに関する第3回授業を行いました！

1月14日、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部 川又 俊則副学長の授業「教育社会学」において、ダイバーシティに関する授業を行っていただきました。

はじめに、三重県ダイバーシティ社会推進課から「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く（きらり）、多様な社会へ～」の紹介があった後、ゲストスピーカーの、愛知産業大学造形学部 教授・NPO人にやさしい色づかいをすすめる会 世話人 林 羊歯代氏から「学校教育と色覚―色覚の多様性を理解する―」というテーマでダイバーシティに関する授業を行っていただきました。

授業では、人によって色の見え方が異なることや様々な色覚タイプ、色盲から色弱、「色覚の多様性」への呼称の変化、CUDO（特定非営利法人カラーユニバーサルデザイン機構）等について話があり、色弱模擬フィルタ「バリアントール」を使った色弱者の見え方体験を行った後、学校での色覚検査をめぐる議論や色覚による職業制限について、テレビでの報道の紹介も交えてお話しいただきました。

最後に、マネジメントの世界で語られるダイバーシティと色覚の多様性は無縁ではなく、色覚による職業制限の根拠を明らかにし、環境を改善していくことも大切であり、そのような意識を育てていく場が学校教育現場であるとお話がありました。

今回の授業で、鈴鹿大学でのダイバーシティに関する授業は終了となります。授業の実施にご協力いただいた川又副学長やゲストスピーカーの皆様に感謝申し上げます。

メニュー

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

参加機関

三重県

三重大学　四日市大学　皇學館大学　鈴鹿大学

鈴鹿医療科学大学　三重県立看護大学　四日市看護医療大学

鈴鹿大学短期大学部　三重短期大学　高田短期大学　ユマニテク短期大学

鈴鹿工業高等専門学校　鳥羽商船高等専門学校　近畿大学工業高等専門学校

http://conso-mie.jp/events/2019diversity0114-3rd/

高等教育コンソーシアムみえ

COC+事業　交通アクセス　お問い合わせ

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

皇學館大学でダイバーシティに関する授業を実施しました！

令和元年12月10日、皇學館大学 特命教授（元教育学部長）深草 正博教授の授業「日本伝統文化教育論」において、ダイバーシティに関する授業を行っていただきました。

はじめに、三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課から「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く(きらり)、多様な社会へ～」の紹介があった後、深草教授から「ダイバーシティの観点から文化を見る」というテーマで、「宇宙史から見た人類史の方向」「異文化理解」についてお話しいただきました。

「宇宙史から見た人類史の方向」は、ビッグバン以降の宇宙史の分化（多様化）の歴史や、その歴史から見た人類が進むべき方向等についてお話しいただき、「異文化理解」は、日本人の欧米文化に対する劣等感や日本国内の地域の優劣意識、開かれた文化相対主義（文化に優劣はない）の浸透の必要性、全国レベルから個人レベルでの文化の違い等についてお話しいただきました。

また、グローバル化（地球市民への一元化）は、ダイバーシティ（多様性）と相反するととられることもあるが、むしろグローバル化の過程で、自分は何者か（アイデンティティ）を問うことが起こり、ダイバーシティを促進するのではないかとのお話をいただきました。

今回の授業では250名を超える学生が受講し、世界や国内の文化の違いという観点からダイバーシティについて学ぶことができました。

皇學館大学では、今回の授業の続きとして12月17日（火）にもダイバーシティに関する授業を行っていただく予定です。

メニュー

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

http://conso-mie.jp/events/2019diversity1210/

http://conso-mie.jp/events/2019diversity1217/

http://conso-mie.jp/events/0129koukaikouza01/

高等教育コンソーシアムみえ

COC+事業　交通アクセス　お問い合わせ

高等教育コンソーシアムみえについて ▼　事業内容 ▼　受託事業 ▼　イベント・行事 ▼　単位互換制度 ▼

三重大学でダイバーシティ公開講座を実施しました！

令和2年1月29日（水）、三重大学においてダイバーシティ公開講座を実施しました。

第1部では、本事業の主担当教員である三重大学 人文学部・地域イノベーション学研究科 朴恵淑教授から挨拶があった後、「三重大学のダイバーシティプロジェクト報告～日中韓大学生の男女共同参画意識調査結果、講義内容のダイジェスト～」として、令和元年10月16日（水）の授業の概要についてお話がありました。

次に、三重県男女共同参画センターフレンテみえ 長谷川峰子事業課長兼相談係長から、「三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」のダイバーシティ活動」として、ジェンダーとは社会的・文化的な性別であり、否定したり押し付けたりするものではないことや、女性の賃金の低さ、男性の自殺者の多さ、固定的性別役割分担意識、男女共同参画の定義等についてお話しいただきました。

その後、男女共同参画基本法の前文で「性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮すること」ができるのが男女共同参画社会であると謳っており、男女共同参画社会は多様性を認め合える社会、めざすべきダイバーシティ＆インクルージョン社会の第一歩であるとお話がありました。

第2部では、三重大学で授業を行っていただいた方々と三重大学 地域イノベーション学研究科の学生から次のとおりお話がありました。

・三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く（きらり）、多様な社会へ～」の紹介
・高等教育コンソーシアムみえ 田中貢地域活性化コーディネーター
令和2年1月8日（水）の授業及び鈴鹿大学、皇學館大学において、川又俊則副学長、深草正博特命教授（元教育学部長）の授業の概要の紹介
・名古屋音楽大学 南泰代非常勤講師
令和元年12月11日（水）の授業で実施したアンケートの結果の報告
・高原社会保険労務士事務所 高原祥子氏
令和2年1月22日（水）の授業の概要の紹介
・三重大学 地域イノベーション学研究科博士前期課程 大西昌子氏
スリランカの支援を通じたダイバーシティに関する報告
・三重大学 地域イノベーション学研究科博士後期課程 李一雲氏
日中韓の男女共同参画に関するアンケート調査分析に関する報告

最後に、男女共同参画みえネット 伊藤美子代表世話人からを挨拶をいただき、公開講座は終了しました。

メニュー

高等教育コンソーシアムみえについて　事業内容　受託事業　イベント・行事　単位互換制度

参加機関

http://conso-mie.jp/events/2019diversity0129/

三重大学でダイバーシティ懇談会を実施しました！

令和2年2月18日（火）、三重大学においてダイバーシティ懇談会を実施しました。

この懇談会は、「高等教育機関と連携したダイバーシティに関する講座等企画・運営業務」に関わっていただいた方にお集まりいただき、それぞれが取り組んできた内容の共有やダイバーシティ推進のためにこれから取り組むべきことについての議論を行うことを目的として実施しました。

出席者は下記のとおり。

・三重大学 人文学部・地域イノベーション学研究科 朴 恵淑 教授

・鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部 川又 俊則 副学長・こども教育学部長

・皇學館大学 教育学部 深草 正博 特命教授（元教育学部長）

・名古屋音楽大学 南 泰代 非常勤講師

・三重県男女共同参画センター フレンテみえ 長谷川 峰子 事業課長 兼 相談係長

・三重県 環境生活部 ダイバーシティ社会推進課 桝屋 典子 課長、天春 孝映 主幹、中嶋 壱成 主事

・高等教育コンソーシアムみえ 田中 貢 地域活性化推進コーディネーター

・三重大学 地域イノベーション学研究科（学生）李 一雲 氏、曹 惊龍 氏、陶 鋭意 氏

懇談会では、はじめに、各出席者から、授業の概要や公開講座での報告の概要の説明、授業の内容に関連する話等があった後、朴教授から日本・中国・韓国の大学生の男女共同参画に関する意識調査の結果に関する話がありました。

次に、今後の展開について、県ダイバーシティ社会推進課からは、県内高等教育機関にご協力いただき、実施機関を広げていきたいとの話がありました。

その後、三重大学 地域イノベーション学研究科の学生3名から、本事業に関わった感想や今後取り組んでいきたいことについて話がありました。

最後に、桝屋課長、田中コーディネーターから挨拶があり、懇談会は終了しました。

http://conso-mie.jp/events/2019diversity0218/